

そら 畑 ニュース 年末特別号

そら畑チーム

発行 平成30年12月

(NO. 5)

早いもので今年も締めくくりの時節となりました。今年一年、畑チームを中心とした宇宙のメンバーの一人一人が畑と向き合い作業に取り組んできました。畑と聞いて、自分から畑へ出掛ける準備をするメンバー。仲間の作業する姿を見て真似ながら鍬で畑を耕すメンバー。自分の楽しみを見つけその為に作業を頑張るメンバーなど、一生懸命に作業に取り組んでいる姿には私達スタッフが元気づけられました。

来年の干支は亥。干支でいう『子』は土の中で種子が発芽の時期を迎えた瞬間を意味し、『丑・寅・卯・辰・巳』と芽が徐々に育ち、『午』で転換期を迎え『未・申・酉・戌』と結実する。最後の『亥』で地面に落ちた種が土中に埋まり次世代の生命に繋がっている。『亥』とは次にタスキを渡す大切な準備期間を意味しているそうです。宇宙の畑も次に進む準備期間の年として仲間と共に畑を盛り上げていきます。

● 11月・12月の畑の動き

人参・大根の収穫
アブラナの収穫
白菜の収穫
常葉町の本田さんより牛糞の寄付受取
木の葉集め
堆肥づくり
地主さんへ挨拶



● 堆肥 (牛糞) の寄付ありがとうございました。

師走の忙しい時期、田村市常葉町の糸の上牧場の本田さんより畑の堆肥の素となる牛糞を運んで下さり寄付していただきました。以前、宇宙と繋がりがあった本田さん。10年ぶりの再会にメンバーも両手を叩き喜び、創作で手作りしたハーバリウムを感謝の気持ちで贈りました。



● クリスマスバイキングイベント

12月に入り食と地域生活のコラボでクリスマスバイキングイベントが行われました。地域の方にご協力頂き午前中は豪華景品が当たる輪投げ大会。お昼はみんなが待っていたすーとほっとさんのバイキング料理と、ご近所の方に戴いたさっぱりとしたゆず大根。宇宙の定番ブルーご飯。テーブルのあちこちには畑で収穫した小さな人参たちが主役の料理を引き立てていました。



● 食と畑

自分達で育て収穫した野菜を使用するため毎月、メンバーと共に調理の打合せを行っています。今まで落花生をアクセントに使用した青菜のナムル。ヤーコンのチジミ、冬瓜の中華炒めなど、食べてから『これ、畑で収穫した野菜だよね』『こんな食べ方があるんだ!』と皆で盛り上がりながら昼食を楽しんでいます。これからも様々なアレンジ料理が調理実習で生まれる事でしょう。



● お野菜基金

新鮮な採れたてのお野菜をご家族の方にお譲りし、そのお気持ちとして頂いた金額をお野菜基金として大切に預かっております。今後の畑作業の活性化につながるよう、メンバー一人一人の為大切に使用させて頂きたいと思っております。



